

自動車産業



自動車産業は常にオートメーションのパイオニアである。従来の自動車市場が縮小し、電気自動車や「環境に優しい」自動車の販売が増加しているため、自動車業界は生産モデルを改革する新しい方法を見つける必要がある。台頭しつつある月極めレンタル市場は、コストと自動車の保守性を活用するため、この業界をより高度な自動化と統合へと向かっています。

BALYOは、このようなニーズの高まりに対応するため、ロボットとサービスの大規模なポートフォリオを開発しました。スタンピング、フォーミングチェーン、ドックローディング・アンローディング、スペアパーツの保管、組立ライン(ボディショップ、ペイントショップ、WMS、KPIの統合)など、生産チェーンへの供給と取り出しから。オートメーションは、市場投入までのスピード、ジャスト・イン・タイム、コスト管理が成功の鍵となる厳しい生産工程に対応しなければなりません。

業界のトレンド

- 追加インフラを必要としない柔軟性の高いソリューション
- 完全統合によるデータ主導の生産
- オペレーターの安全性向上
- サプライチェーンのデジタル化：品質、総合効果、スピード、信頼性の向上
- 新技術に支えられた作業最適化のための労働者の再配置
- 適応可能な生産ツール

なぜロボットなのか？

1

安全：安全な作業

2

収益性：人件費の削減

3

品質：損害の減少



自動車産業におけるBALYOの役割

自動車産業における典型的なアプリケーションの流れの例としては、以下のようなものがあります：

- BALYO スタッカーが鋳造工場から品質管理エリアへ材料を運ぶ。
- BALYOはまた、プレスから切断エリアへ材料を搬送するタガートラックも配備しています。
- パレットトラックは、インバウンドエリアから他のショップ(例：溶接)へパレットを移動するために使用されます。

BALYOの特長

- 生産/流通/保管アプリケーションのための完全なソリューション
- 24時間365日の使用とシステムの安定稼働性
- 運用の柔軟性
- 適応ナビゲーション技術
- 大きな負荷タイプも可能なロボットのラインアップ
- 幅広いロボットポートフォリオ
- 大手マテリアルハンドリングサプライヤーとのサービスネットワークパートナーシップ
- WMS/ERP接続
- 顧客環境との連動
- 生産性とスループットの向上

BALYO 自動車産業での導入実績



導入台数



顧客



現場